

# ロジカルシンキング研修

## 1. 研修の目的

仕事を行う上での基本となる論理的・合理的な思考方法を修得し、情報伝達力や問題解決力、意思決定力を強化することを目的とします。

## 2. 研修内容（午前）

対象者：一般職員～中堅職員

|       | 内 容   | 詳細、得たい成果   |
|-------|---|--|
| 9:00  | <b>1. ロジカルシンキングとは何か</b><br><br><b>～論理的思考の人と情緒的思考の人～</b>   | ロジカルシンキングとは、一貫して筋が通っている考え方。<br>◆ 問題解決の場面における情緒的思考な人と論理的思考の人の違い。<br>◆ 情緒的な人は、「まあ、やってみましょう!」、論理的な人は、「やるうえでの障害と弊害を考えておきましょう」。<br>◆ 情緒的な人は、「解決策はこれしかないです」、論理的な人は、「こういう方法と、その反対にこんな方法もあり得ると思います」<br>◆ 情緒的な人は、「とにかくこうすべきなんです」、論理的な人は、「こうすべきです。なぜならば・・・」<br>◆ 情緒的な人は、「かなり」、「ずいぶん」等のあいまいな表現。論理的な人は、「前年比15%アップ」、「84人中21人、25%が」というように具体的な数字を使った表現。 |
|       | <b>2. ツリーで思考できるようになる</b>  | ◆ ツリーで考えられるようになる。<br>① Why ツリー:「なぜ、そうなのか?」でつなげる。<br>② How ツリー:「そのためには?」でつながる。<br>③ What ツリー:「具体的に言えば?」でつなげる。<br>※グループワーク:問題の原因を Why ツリーで表現してみる。  |
|       | <b>3. MECEで思考できるようになる</b><br><br><b>MECE:漏れなく、ダブリなく</b><br><br>(Mutually Exclusive Collectively Exhaustive) | ◆ 物事を漏れなく、ダブリなく (MECEで) 考えていけるようになる。<br>◆ そのために必要になるのが、フレームワークの知識。<br>◆ 多面的思考で考えるためにもフレームワークを使いこなせるようになる必要がある。   |
|       | <b>4. 具体的な数字を使って思考できるようになる</b>  | ◆ 数字は、単独では意味がない。<br>◆ 数字は、別の数字と比較してこそ意味を持つ。<br>◆ 過去との比較、未来(目標)との比較、競合との比較、住民の期待との比較、標準との比較。<br>※グループワーク:数字からどんな発想をするか  |
| 12:00 |   |  |

## 2. 研修内容（午後）

|       | 内 容                      | 詳細、得たい成果  |
|-------|--------------------------|---|
| 13:00 | 5. マトリックスで問題を整理できるようになる  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 縦軸、横軸に項目を取り、3つの象限で物事を整理できるようになる。</li> </ul> <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 職員の分類：縦軸に「やる気（高い、低い）」、横軸に「能力（高い、低い）」</li> <li>◆ 目標に対する結果の分類：縦軸に「目標（達成、未達成）」、横軸に「プロセス（実行、未実行）」等。</li> </ul> <p>※グループワーク：リーダーシップの分類をマトリックスで考えてみる</p> |
|       | 6. 問題解決プロセスで思考できるようになる   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 問題解決プロセス（現状把握⇒原因分析⇒目標設定⇒対策立案）の流れを意識して思考できるようになる。</li> </ul>  |
|       | 7. ロジカルシンキングで「情報伝達力」を高める | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 新聞記事をロジカルに分かりやすく伝えるとしたら…</li> </ul>  |
|       | 8. ロジカルシンキングで「問題解決力」を高める | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「どうしたら自部署の残業を減らすことができるか？（仮）」をテーマに How ツリーで対策を考えてみる。</li> </ul>   |
|       | 9. ロジカルシンキングで「意思決定力」を高める | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「どうしたら自部署の残業を減らすことができるか？（仮）」をテーマに How ツリーで考えた対策の中から優先順位をつける。</li> <li>◆ 縦軸に「効果（高い、低い）」、横軸に「取り組みやすさ（易しい、難しい）」を取ったマトリックスで対策を分類。その中で、最も取り組みやすく、効果の高い対策を抽出する。</li> </ul>   |
|       | 10. まとめ                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 1日の研修を振り返り、今後どんなことに取り組んでいくのかを決める。</li> </ul>   |
| 16:30 | 11. 講師講評                 |   |